

事務事業名		漁業近代化資金利子補給補助事業		<input type="checkbox"/> 実施計画記載事業	<input type="checkbox"/> 合併建設計画記載事業	
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		
	施策名	19 地域活力を担う水産業の振興				
	基本事業名	03 漁業経営の安定化		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 ー 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
根拠法令		大船渡市漁業近代化資金利子補給規則		予算科目 会計 科目 項目 事業 01 06 03 02 11		
所属	部課名	農林水産部 水産課		総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0		
	課長名	鈴木 満広				
	係名	漁政係	電話			27-3111
	担当者	佐々木 愛	内線			373
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 漁業近代化資金助成法により漁業者等に融資を行った融資機関に対し、大船渡市漁業近代化資金利子補給規則に基づき、年0.5%の利子補給を行う。 主な業務は、融資機関からの申請(奇数月) ⇒ 審査・承認 ⇒ 融資機関での貸付実行⇒ 融資機関からの利子補給請求 ⇒ 利子補給補助金の支出。 事業費は、利子補給補助金として支出される。						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 融資機関からの申請(奇数月) ⇒ 審査・承認 ⇒ 融資機関での貸付実行 ⇒ 融資機関からの利子補給請求 ⇒ 利子補給補助金の支出  今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度とほぼ同じである。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 融資申請件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 融資申請件数	件	イ		ウ	
名称	単位								
ア 融資申請件数	件								
イ									
ウ									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 (間接の対象)市内の漁業者(漁協組合員) (直接の対象)市内の漁業協同組合	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>カ 市内の漁業者数(漁協組合員)</td><td>人</td></tr> <tr><td>キ 市内の漁業協同組合数</td><td>漁協</td></tr> <tr><td>ク</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	カ 市内の漁業者数(漁協組合員)	人	キ 市内の漁業協同組合数	漁協	ク	
名称	単位								
カ 市内の漁業者数(漁協組合員)	人								
キ 市内の漁業協同組合数	漁協								
ク									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・借入によって、漁家経営が安定する。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>サ 融資承認件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>シ 利子補給補助金の額</td><td>千円</td></tr> <tr><td>ス</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	サ 融資承認件数	件	シ 利子補給補助金の額	千円	ス	
名称	単位								
サ 融資承認件数	件								
シ 利子補給補助金の額	千円								
ス									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安定して漁業を営む。									

(2) 総事業費・指標等の推移															
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">単位</th> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> <tr> <th>23年度(実績)</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(実績)</th> <th>27年度(目標)</th> <th>28年度(目標)</th> </tr> </table>	年度	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)
年度	単位			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)						
		23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)								
投入量	事業費	千円													
	財源内訳	千円													
	国庫支出金	千円													
	都道府県支出金	千円													
	地方債	千円													
	その他	千円													
	一般財源	千円	757	176	164	2,258	3,541	3,541							
	事業費計(A)	千円	757	176	164	2,258	3,541	3,541							
	人件費	人	1	1	1	1	1	1							
	延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50							
人件費計(B)	千円	200	200	200	200	200	200								
トータルコスト(A)+(B)	千円	957	376	364	2,458	3,741	3,741								
⑤活動指標	ア	件	2	3	1	3	3								
	イ														
	ウ														
⑥対象指標	カ	人	3237	3,175	3,124	確認中									
	キ	漁協	4	4	4	4	4								
	ク														
⑦成果指標	サ	件	2	3	3	1	2								
	シ	千円	758	176	164	2258	3541								
	ス														

事務事業ID	0600	事務事業名	漁業近代化資金利子補給補助事業
--------	------	-------	-----------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	漁業近代化資金法の施行(昭和44年6月26日)による。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	大きな変化はないが、東日本大震災からの復興に向けて、「東日本大震災漁業経営復興特別資金」が創設されたことから、復興に関する資金は、当面そちらを利用する漁業者が増加することが見込まれる。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 漁業者の設備投資に係る負担を軽減することは、漁業経営の安定に貢献している。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ ・漁業経営の安定は、当市水産業振興上の課題である。 ・行政として支援すべきとして創設された資金制度であり、利子補給規則に基づく助成である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 現状のままでよい。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 現状のままで、成果は上がっている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 漁業者の施設整備が進まなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】⇒ (具体的な手段, 事務事業) 被災漁業者には「東日本大震災漁業経営復興特別資金」(県の事業)への切り替えが可能。 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 当事業からの切り替えは可能だが、同時には利用できず、期間限定の事業である。近代化資金制度としては継続して実施していく必要がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 補助率は、漁業近代化資金利子補給規則に定められており、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 業務時間がそれ程多くなく、削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 施設の整備をしようとする漁業者等に対し助成するものであり、その費用の多くは、漁業者が自ら負担するものであることから、負担は公平・公正である。
公平性 評価		

事務事業ID	0600	事務事業名	漁業近代化資金利子補給補助事業
--------	------	-------	-----------------

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	過去分の利子補給については適正に利子補給を行った。平成23年度からは震災の影響による新たな申請もあったが、「東日本大震災漁業経営復興特別資金」(県の事業)を利用する被災漁業者も多かった。																						
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 ) (上記方向性に対する具体的な内容) 今年度同様に継続して事業を実施する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。																								

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

### 4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	水産課	鈴木 満広
-------	-----	-------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																								
① 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																								
<input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている																								
② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																								
<input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																								
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																						
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	漁協及び漁協組合員の安定的な操業と経営安定のため、低利な資金の融資制度であり、継続的な運用と利子補給が必要である。																						
② 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)		(5) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 ( <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 ) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり継続して事業を実施する。		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------